

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【公開番号】特開2006-234(P2006-234A)

【公開日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2006-001

【出願番号】特願2004-177519(P2004-177519)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 1 0 1 L

A 6 1 B 5/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月20日(2009.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

被験者の口蓋形状に合わせて形成された口蓋床板に貼り付けられる厚みが 20～300 μm の可撓性を有する舌圧センサシートであって、複数の感圧部を有するセンサ本体、端子部及び前記感圧部と端子部相互を接続する配線部を備えており、仮想中心線上及び、前記仮想中心線に対して線対称に直径 1～5 mm の感圧部が配置されていると共に、前記感圧部相互が接続部によりループを形成しない態様で接続してあることを特徴とする舌圧センサシート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(請求項 1 記載の発明)

この発明は、被験者の口蓋形状に合わせて形成された口蓋床板に貼り付けられる厚みが 20～300 μm の可撓性を有する舌圧センサシートであって、複数の感圧部を有するセンサ本体、端子部及び前記感圧部と端子部相互を接続する配線部を備えており、仮想中心線上及び、前記仮想中心線に対して線対称に直径 1～5 mm の感圧部が配置されていると共に、前記感圧部相互が接続部によりループを形成しない態様で接続してある。